「タイトル」

〇　梗概

脚本スクールに通う文子（２５）は、ある日、人気脚本家の大屋敷薫子（４８）から声をかけられ……。〈　以下省略　〉

※　梗概は８００字以内。

※　８００字分文章を書きたい場合、

〇　梗概　をつけず、２枚に収める。

※　年齢の（　）内の数字は、縦並びで

　も横並びでも可。

〇　登場人物

麹町　文子（２５）　脚本スクールの受講生　大屋敷　薫子（４８）　人気脚本家

※　年齢の（　）内の数字は、縦並びでも

　横並びでも可。

　　ＳＥ　ノックをして。

文子「大屋敷先生、麹町です」

大屋敷「（ドアの向こうで）どうぞ、入って」

　　ＳＥ　ドアを開けながら。

文子「失礼します」

大屋敷「あなたが……麹町文子さん」

文子「は、はいっ！」

大屋敷「あなたが書いた、この……『春色の殺意』ってプロットだけど……」

文子Ｍ「サスペンス・ドラマの女王、大屋敷薫子先生が……あたしのプロットを手にしてる！」

薫子「発想はすごくいい。でも、展開が弱い。取材、ほとんどしていない」

〈　以下省略　〉

※　脚本本文は、５０～５５枚

※　本文の最終ページには（了）（終）（終わり）など、記載。

※　参考文献や出典がある場合は、本文最終ページまたは、次のページ（脚本本文が５５枚なら５６枚目）に記載する。

〈　例　〉

〇　参考文献

『坊ちゃん』（夏目漱石・新潮文庫）